



KUMAMOTO ROSAI HOSPITAL

救急
医療

総合
医療

地域
連携



Kumamoto Rosai

独立行政法人 労働者健康安全機構

熊本労災病院

<https://www.kumamotoh.johas.go.jp>

地域と繋がる医療で、未来へ続く健康を共に創る



独立行政法人
労働者健康安全機構
熊本労災病院

院長 松岡 雅雄

熊本労災病院へようこそ！私たちは、地域の皆様の健康を守るために、「紹介したい、受診したい、勤務したい病院 No.1」を目指して、日々努力しています。

1. 専門診療科と質の高い医療で、あなたとご家族の健康を支える

熊本市外では県内最多の専門診療科を備え、小児から高齢者まで幅広い急性期医療に対応しています。令和6年には県南八代地域で初めて歯科口腔外科を開設し診療を開始します。診療科間の垣根は低くスムーズな連携の元、医師と看護師が協力しながら、患者さんに最適な治療を提供します。労災病院のミッションである働く人々の健康を守り、病気を治療し職場復帰を支援します。

2. 24時間365日、安心の救急医療

救急医療は地域での安心の要です。熊本労災病院は、緊急対応が必要な疾患や外傷に24時間365日対応する「断らない救急」を実践しています。九州自動車道八代インター近くに位置し、ヘリポートも完備しており、救急患者さんに迅速な対応が可能です。

3. 地域医療との連携と充実したリハビリテーション

地域医療連携室を通じて、地域の医療機関や介護施設と連携し、患者さん本位の治療を継続して行います。また、設立時から充実しているリハビリテーションについては、地域での指導的役割を担っています。

4. 医療人育成の力で、未来の医療を担う人材を育む

医師の初期研修、医学生の実習、看護師の育成など、多様な医療人育成の場として、多くの若い医療者を育てています。熊本市外では最も多くの初期研修医を教育しています。「暖かい良い雰囲気の中で学ぶ」ことができる環境を提供しています。

今後も患者さん中心の医療、地域医療への貢献、医療人育成に積極的に取り組んでまいります。熊本労災病院は、地域の皆様に信頼される病院を目指して、職員一同、研鑽、努力してまいります。

病院理念

理念 良質で信頼される医療の実践

基本方針

1. 地域の人々と働く人々に寄り添い、その健康と尊厳を守ります。
2. 地域医療機関と連携し、急性期医療を担う中核施設として全人的医療に貢献します。
3. いつでも受け入れられる救急医療、災害医療を実践します。
4. 人にやさしく優れた医療人を育成します。
5. 病院の理念実現のための健全な経営基盤を確立します。

臨床研修理念

理念

基本方針

信頼される医療を実践できる医師の育成

1. チーム医療の実践の中で、高い倫理観と責任感を持った信頼される医師を育成する。
臨床医としてのプライマリケアを行う基本的診療能力を身につける。
2. 医療安全と感染対策の重要性を理解させ、その実践を修得させる。
3. 勤労者医療を理解し、その実践方法を学ばせる。
4. 専門的医療とともに、周産期医療、救急医療、災害医療など地域に根ざす医療を修得させる。
5. 社会資源も配慮した公正で適正な医療の実践を学ばせる。

指定医療機関等に関する事項

地域がん診療連携拠点病院(国指定)
地域災害拠点病院(熊本DMAT指定病院)
救急告示病院(二次救急医療機関)
臨床研修指定病院
地域医療支援病院
脳卒中急性期拠点医療機関
心血管疾患急性期拠点病院
心血管疾患回復期医療機関
地域産科中核病院
小児地域医療センター
熊本県地域医療拠点病院
難病基幹協力病院
在宅療養後方支援病院
紹介受診重点医療機関

認定施設

日本医療機能評価機構認定施設 (3rdG:Ver.3.0)
日本呼吸器学会基幹施設
日本消化器内視鏡学会指導施設
日本消化器病学会専門医認定施設
日本肝臓学会認定施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設
日本不整脈心電学会認定専門医研修施設
浅大動脈ステントグラフト実施施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設
NCD 参加施設
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本乳癌学会認定施設
日本呼吸器内視鏡学会認定施設
3学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
日本胸部外科学会教育施設
胸部ステントグラフト実施施設
腹部ステントグラフト実施施設

下肢静脈瘤血管内焼灼術実施施設
日本整形外科学会専門医研修施設
日本脳神経外科学会連携施設
日本皮膚科学会認定専門医制度教育研修施設
日本泌尿器科学会認定専門医教育施設
日本周産期・新生児医学会母体・胎児認定施設(補完施設)
日本産科婦人科学会専門医研修連携施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
日本気管食道科学会専門医研修施設
日本医学放射線学会専門医修練機関認定施設
マンモグラフィ検診施設画像認定施設
日本麻酔科学会認定施設
日本病理学会登録施設
日本臨床細胞学会教育研修施設
日本栄養療法推進協議会 NST 稼働施設
日本脳ドック学会認定施設
熊本県認定肝臓病医療支援システム指定高次専門施設
認定臨床微生物検査技師制度協議会研修施設
日本理学療法士協会生涯学習制度臨床指導施設



新棟完成イメージ

熊本県南地域における中核病院の1つとして 地域の高度専門医療を担っています。

病院 概要

設立主体／独立行政法人 労働者健康安全機構
病 床 数／ 410 床
診療科数／ 27 診療科

診療 科目

内科／呼吸器内科／消化器内科／脳神経内科
糖尿病・代謝内科／精神科／循環器内科／小児科
消化器外科、一般外科／呼吸器外科／乳腺外科
小児外科、移植外科／心臓血管外科／整形外科
形成外科／脳神経外科／皮膚科／泌尿器科
産婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／リハビリテーション科
放射線科／麻酔科／歯科口腔外科／病理診断科

患者の権利と責務

【患者の権利】

- 1 全ての患者さまが良質で安全な医療を平等に受けることができます。
- 2 自身の病気や医療内容について、十分な説明を受けることができます。
また、分からないことがあれば質問をすることができます。
- 3 詳しい説明を受け十分に理解した上で、検査や治療方法を自身で選ぶことができます。また、当院での治療計画を他院の医師に相談することができます（セカンドオピニオン）。
- 4 医療上得られた個人情報などのプライバシーは、法的あるいは治療上などの正当な要請のある場合を除き、保護されます。
- 5 手続きに則り、自身の医療上の記録や情報の開示を求めることができます。

【患者の責務】

- 1 自身の病状や健康に関する情報を詳しく正確に伝えてください。
- 2 社会的ルールに遵守し、自身と他の患者さまと共に良質な医療を受けることができるよう、病院の規則、職員の指示を守ってください。



待合ロビー

外来診療について

- ◇内科、呼吸器内科、消化器内科、脳神経内科、糖尿病・代謝内科、精神科、小児科、循環器内科、心臓血管外科、外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
- ◇当院は国の政策に基づき、地域の身近な病院・診療所など「かかりつけ医」からの紹介により最適な診療を行うことを目指しております。
小児科・整形外科、精神科の初診の受付は完全紹介制です。
(紹介状を持参していただいた患者さまのみ受付可能)

院内ホスピタルギャラリー

正面玄関から中央診療棟まで続く61mの廊下です。患者・ご家族だけでなく地域住民の方が飽きずに、楽しめて、癒される空間となるようアートギャラリーとなっています。設計を行ったのは、熊本高等専門学校建設社会デザイン工学科の生徒の皆さま、そして展示品に関しては、八代白百合学園高等学校の皆さまにご協力いただいております。



子どもの権利

熊本労災病院では、公益社団法人日本小児科学会が策定した「医療における子ども憲章」に基づいて、小児患者さんの権利を確認し尊重します。

【医療における子ども憲章】(公益社団法人日本小児科学会)

- 1 人として大切にされ、自分らしく生きる権利
- 2 子どもにとって一番よいこと(子どもの最善の利益)を考えてもらう権利
- 3 安心・安全な環境で生活する権利
- 4 病院などで親や大切な人といっしょにいる権利
- 5 必要なことを教えてもらい、自分の気持ち・希望・意見を伝える権利
- 6 希望どおりにならなかったときに理由を説明してもらう権利
- 7 差別されず、こころやからだを傷つけられない権利
- 8 自分のことを勝手にだれかに言われない権利
- 9 病気のときも遊んだり勉強したりする権利
- 10 訓練を受けた専門的なスタッフから治療とケアを受ける権利
- 11 今だけではなく将来も続けて医療やケアを受ける権利

個人情報保護方針

熊本労災病院は、個人の権利・利益を保護し、患者に安心して医療を受けていただくため、次のとおり個人情報に関する要綱を定め、個人情報の保護に努めています。

- 1 患者が自らの権利と責任において、最適な診療を受けられるよう、本人の意思を尊重します。
- 2 個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集、利用及び提供に努めます。
- 3 個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん、及び漏えいなどに関する万全の予防措置を講じます。万一の問題発生時には、速やかな是正対策を実施します。
- 4 患者からの内容の確認・訂正あるいは利用停止を求められた場合には、調査の上適正に対応します。
- 5 個人情報に関する法令及び政令等を遵守します。
- 6 個人情報保護体制を適正に維持するため、職員の教育・研修を徹底します。
- 7 患者の個人情報について開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の内部規則に従って対応いたします。
- 8 個人情報に関するお問い合わせは、以下の個人情報相談窓口においてお受けいたします。
個人情報相談窓口医事課

入院について

当院は、救急告示病院であり、急性期の入院治療を必要とする患者さまが、いつでも入院できる体制を整えることに、最大限の努力をしております。入院される皆さまが療養に専念され、1日も早く健康を回復されますよう心から願っております。

緩和ケア病室



どなたでも安心して受診していただけるよう、
病気の早期発見と適切な治療をめざします。



入退院支援センター

予約入院となる患者さまが安心して入院生活を送れるように、入院前から看護師をはじめ、薬剤師、栄養士、医療ソーシャルワーカーなど多分野の専門職が関わり、患者さまの診療を支援します。事前に患者さまの状態を把握し、入院に対する不安の解消を目指します。また、病棟看護師とも連携を取り、患者さま一人ひとりにあった入院治療および看護が提供できるように努めます。退院後の生活や医療費に関する相談、かかりつけ医の紹介、各種申請の手続きなどにも対応します。

結核療養病床

八代圏域で唯一の結核病床2床を完備しています。個室にはベッドのほか、シャワーやトイレを設置し、フィルター付きの換気設備や空気が外に流れないように室内の気圧を下げ、菌の拡散を防ぎます。必要であれば、結核以外の感染症の患者さまの入院にも対応します。



看護部

看護部では、社会情勢や医療の進歩に即応した専門性の高い、安全で安心な質の高い看護を目指しています。病院理念と職業倫理に基づき、患者さまに寄り添い満足して頂ける看護の提供に努めています。



認定看護師・特定行為看護師

当院には複数名の認定看護師・特定行為看護師が在籍し、院内全体の看護の質の向上のために、他職種と協働して活動しています。自らが高度な実践者として活躍するとともに、現場に出向いて直接的に指導・相談を行っています。



薬剤部

薬剤部では、内服薬や注射薬の調剤をはじめ医療品の管理、服薬指導、チーム医療への参加等を通じて、患者さまの薬物療法における安全・安心の確保に努めています。



認定看護師 16 名が在職中

緩和ケア認定看護師	2 名
糖尿病看護認定看護師	1 名
感染管理認定看護師	3 名
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	2 名
皮膚・排泄ケア認定看護師	1 名
呼吸器疾患看護認定看護師	1 名
がん化学療法看護認定看護師	1 名
クリティカルケア認定看護師	2 名
認知症看護認定看護師	2 名
心不全看護認定看護師	1 名
特定行為研修修了者、慢性心不全看護認定看護師、救急・集中、外科領域パッケージなど	

専門・認定資格等取得状況

施設認定（2024/01/31 現在）
日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修施設
がん専門薬剤師研修施設（基幹施設）
医療薬学専門薬剤師研修施設（基幹施設）
薬物療法専門薬剤師研修施設（基幹施設）
実務実習研修施設

専門・認定薬剤師等 人数（2024/01/31 現在）

日本医療薬学会 がん指導薬剤師	1 名
日本糖尿病療養指導士	4 名
日病薬感染制御専門薬剤師	1 名
日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師	1 名
日本緩和薬物療法認定薬剤師	1 名
日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師	1 名
循環器病予防療養指導士	1 名
認定実務実習指導薬剤師（薬学教育協議会）	3 名
日病薬認定指導薬剤師	3 名
日病薬病院薬学認定薬剤師	11 名
日本医療情報学会 医療情報技師	2 名
日病薬生涯研修認定薬剤師	4 名



検体検査室

中央検査部

中央検査部では、生化学、血液、一般、輸血、病理、細菌、生理・超音波検査等の各種検査を行い、各分野のスペシャリストとしての認定資格を有する臨床検査技師が多数在籍しています。日常診療から救急医療における診療支援に対応するため、迅速かつ安全で正確な検査を 24 時間体制で行っていくために、日々の技術と知識の向上に努めています。



病理検査室



心エコー検査

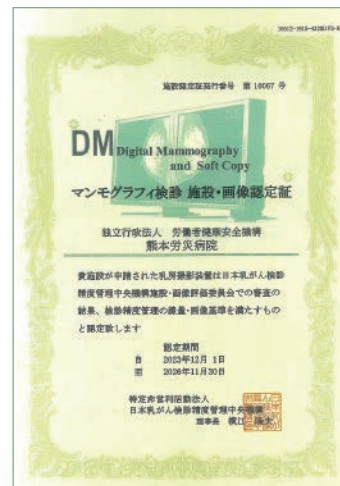
どなたでも安心して受診していただけるよう、
病気の早期発見と適切な治療をめざします。

中央放射線部

中央放射線部は一般 X 線撮影・CT・MRI・RI などの各種画像診断と放射線治療を行っています。各診療科に対して、質の高い画像情報の提供や高度な治療への対応に努め、患者さまに優しく、安心できる検査・治療をめざして業務を行っています。

当院は、「マンモグラフィ検診施設画像認定施設」に認定されています。

この認定は、マンモグラフィ検査の精度維持・向上を目的として、日本乳がん検診精度管理中央機構が審査するものであり、高画質と読影精度の高いマンモグラフィ検診を実施している施設が認定を受けることが出来ます。



マンモグラフィ検診施設
画像認定証



デジタルマンモグラフィ装置



2 管球 CT 装置



心臓リハビリテーション

中央リハビリテーション部

中央リハビリテーション部は、入院や手術直後から『早期リハビリテーション』に取り組んでいます。治療と就労の両立支援活動にも取り組んでおり、復職（就労）支援を行っています。



リハビリテーションセンター



摂食嚥下訓練



簡易自動車運転シミュレーター



復職（就労）支援



栄養管理室

栄養管理部

栄養管理部では、病状に合わせた治療食の提供、栄養食事相談、季節に合わせた行事食、食欲低下の個人メニューの提供など、入院患者さまの個々の栄養状態に合わせた栄養管理、食事の提供を行っています。



栄養食事相談



厨房





手術室

中央手術部

中央手術部では高度医療を提供するために、先進的な装備を備え、明るく快適な空間で、患者さまを中心に各診療科医師や看護師、麻酔科医師、薬剤師、臨床工学技士と連携してチーム医療を行っています。



中央臨床工学部

当院には6名の臨床工学技士が勤務しています。業務内容が多岐にわたるため、複数の診療科の医師、看護師、その他医療スタッフ、事務職員と協力し、患者さまへよりよい医療を提供できるように日々の業務に取り組んでいます。

当院救急外来の上にヘリポートが設置され、地域の急性期医療、救急医療に貢献しています。



ヘリポート

平成26年4月から、当院救急外来の屋上にヘリポートが設置され、当院へ重篤患者を搬送することができるようになりました。また、当院へ県内の病院からヘリによる転院搬送を行っています。

集中治療室 (ICU)

当院では、特に外科や心臓血管外科、脳神経外科など、侵襲性の高い術後の管理に専門性の高い集中ケアを提供しており、八代地域の急性期医療、救急医療に貢献しています。

集中治療室 (ICU)



新棟のお知らせ

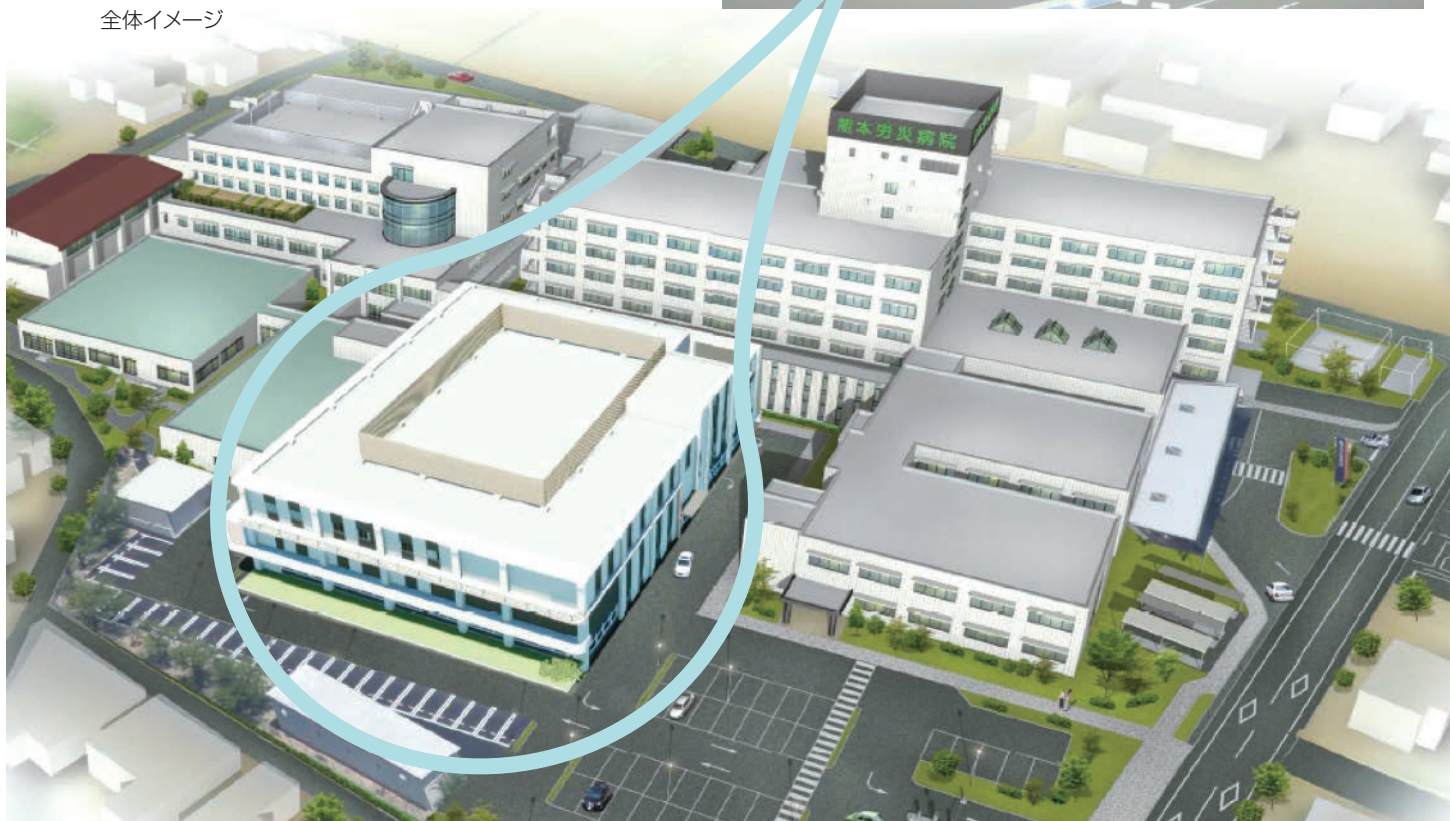
新棟（高度医療・災害対応棟）

当院では、高度医療の拠点、また大規模災害時における緊急避難・診療拠点として、新棟（高度医療・災害対応棟）を建設します。（令和7年度完成予定）

新棟イメージ



全体イメージ



新棟では、高度医療に対応する手術室・ICU、リハビリ部門、災害時における地域のみなさんの避難受け入れスペースを設置し、更に地域に貢献してまいります。

産業医活動

「産業医」とは、職場において労働者が健康で快適な作業環境のもとで仕事が行えるよう、専門的立場から指導・助言を行う役割の医師のことです。当院では、ストレスチェックの高ストレス者や長時間労働者への面談、衛生委員会を通じた健康意識向上などを実施しています。



臨床研修センター



当院は、厚生労働省より臨床研修病院（基幹型・協力型）に指定されています。

多診療科を有する地域の中核病院として、救急医療、がん治療、小児医療など豊富で幅広い症例を背景に、初期研修医に対して、チーム医療の中で、医療の基礎知識、総合的診断能力や基礎的医療技術の修得を目指した研修を実施しています。当院での研修を通して、医師としての社会的使命を認識し、生命に関わる倫理の向上や人格の涵養を図り、どこでもどのような立場でも活躍できる能力を備えた医師の基礎を形作ります。

これまで、多くのすぐれた研修医たちが当院を巣立ち、熊本県をはじめ、全国各地で地域医療に貢献しています。

適切な保健福祉医療サービスが完結できるよう、 計画に基づいた医療活動に力を入れています。

医療への取り組み

各県の医療計画では、地域の中で医療機能の分化・連携（医療連携）を推し進めることにより、急性期から回復期、在宅療養に至るまで、必要な医療が提供される「地域完結型医療」を推進しています。

2024 年度より、これまでの「5 疾病」（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）、「5 事業」（救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児救急を含む小児医療）及び在宅医療に加え、新たな事業として『新興感染症の発生・まん延時における医療体制』が追加され「6 事業」となります。

当院でも、第 8 次熊本県保健医療計画に基づき、全力で医療活動に取り組んでいます。

5 疾病

がん診療

地域がん診療拠点病院（国指定）として「がん総合診療センター」の体制を強化し、各診療科と検査・診断、化学療法部門等の緊密な連携による診療、がんリハビリテーション、緩和ケア及びがん相談における患者目線サービスの充実、地域の医療機関との連携、そして働く世代のがん診療に係る就労両立支援を展開しています。また、市民公開講座、広報誌、ホームページ、地方 FM など複数の媒体を用い、がん診療機能について積極的に PR を行っています。



急性心筋梗塞

八代医療圏において「急性期」を担う医療機関と位置づけられており、救急患者を積極的に受け入れ、開業医や中小病院との連携強化にも努めています。

脳卒中

脳卒中においては、県南地域の t-P A 療法受入病院として 24 時間体制で対応する等、脳卒中急性期拠点病院としての役割を担い、地域医療機関との連携に努めています。

糖尿病

糖尿病をはじめとした生活習慣病の診断・治療・教育を中心に、その他甲状腺機能異常（橋本病やバセドウ病など）・甲状腺腫瘍をはじめとした内分泌疾患の診断・治療を行っております。また、糖尿病認定看護師が在籍し、外来患者さまの療養指導やフットケア、外来インスリン導入、透析予防指導などの活動を行っています。

6事業

災害医療

当県では、熊本地震や令和2年7月 熊本豪雨災害をはじめとする自然災害にたびたび見舞われ、当院では、**DMAT (Disaster Medical Assistance Team)** を中心に、これらの災害に対応して参りました。また、熊本豪雨災害、**DMAT 九州・沖縄ブロック実動訓練**では、県南活動拠点本部としての活動を行いました。

この度、当院では、高度医療・災害対応棟が新たに建設予定です。救急・災害診療部門では、有事の際の拠点として、これまで以上に機能的に活動できるよう、取り組んでいます。



救急医療

救急医療については、県南地域における中核病院として救急患者や救急車搬送を積極的に受け入れており、八代広域消防の約半数の救急車を受け入れる等、地域の救急医療の中心的役割を担っています。平成25年6月にはICUを開設し、平成26年4月からヘリポートも開設され、更なる救急医療への取組みを行っております。また、気管内挿管実習等救急救命士の実習受け入れについても積極的に実施しています。



周産期医療

院内助産師を中心とした八代市産後ケア事業、産後体調不良によるレスパイト入院、乳房ケア等を行っています。



新興感染症対応

新興感染症対応については、第一種協定指定医療機関として、関係行政機関の要請を受け、新興感染症の流行初期に新興感染症患者または疑いのある患者の病床を確保し、必要な医療を提供する役割を担っています。

また、地域の医療機関や介護福祉施設と連携し、感染対策等に必要な情報提供を行うとともに、地域での感染対策の質向上に努めています。



小児救急

小児救急については、八代医療圏における小児医療の中核的な役割を担っており、圏内唯一の小児入院施設として主に2次救急医療に携わっています。年間約350人の入院があり全般的な小児疾患に対応しています。

地域医療

平成20年1月21日付で、「地域医療支援病院」として熊本県より承認を受けました。地域医療支援病院は、医療施設機能体系化の一環として、紹介患者に対する医療提供はもとより、医療機器、病床等の共同利用等を通じて、かかりつけ医を支援する地域医療体制の中核を担う病院として制度化されたものです。当院も地域の医療関係者向けの勉強会や、地域住民の方向けの講習会などを行い、地域医療の資質の向上に貢献すべく努力しています。



地域医療連携室

治療と仕事の両立支援相談窓口

治療と仕事の両立支援って？

がんなどの病気になってしまった時、仕事を休めないといった理由で十分な治療ができなかったり、病気の治療を理由に仕事を辞めてしまったりすることがあります。

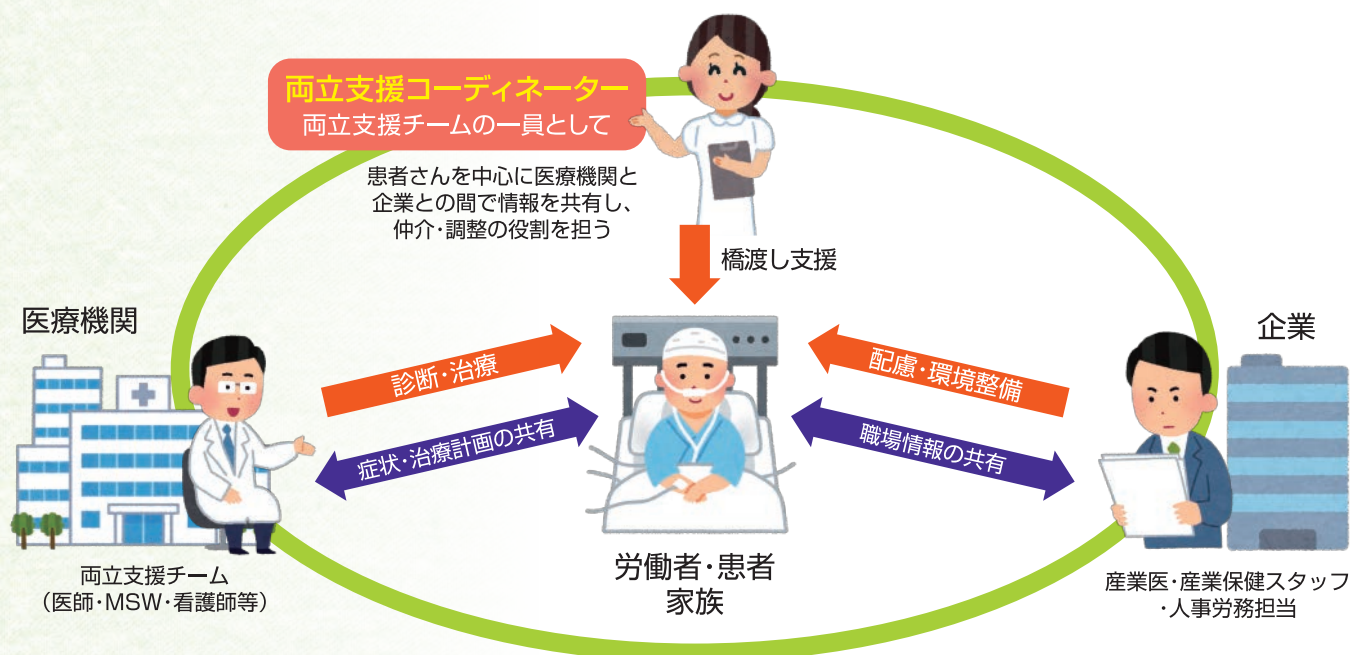
当院では、休業からの職場復帰や治療と仕事の両立をサポートすることを目的として、平成26年4月から「治療就労両立支援部」を設置し、専門の「両立支援コーディネーター」が支援を行っています。

両立支援コーディネーターの役割は？

患者さまやご家族が治療と仕事の両立を希望する場合、通常は、患者さまご自身が「医療機関」と「職場」と調整する必要がありますが、「自分の病状や今後の治療について、的確に職場に伝えられるだろうか？」「どのような業務内容であれば治療をしながら行ってもよいだろうか？」・・・など、様々な問題や不安があり、十分に職場等と連携、情報共有ができず、結果として仕事を継続できないといったことにつながる可能性があります。



当院では、両立支援コーディネーターが、患者さまやご家族のお悩みを聞き同意を得た上で、「患者さま」を中心として、「医療機関」（診断・治療の見直しなどの情報）と、「企業」（職場環境の情報、業務内容の配慮等）との3者間をつなぎ、円滑な情報の共有と両立に向けた調整が行えるよう支援しています。



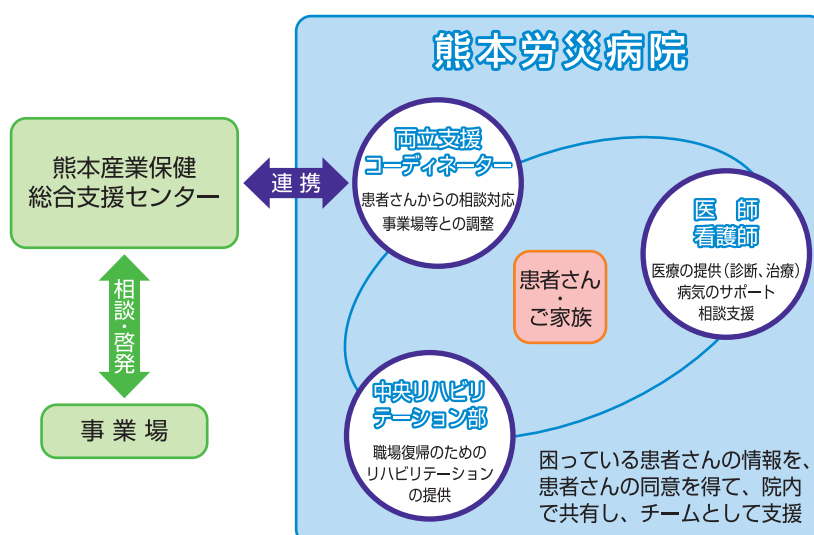
※当院の「両立支援コーディネーター」はMSW（社会福祉士）の資格を有しています。

熊本労災病院の両立支援体制は？

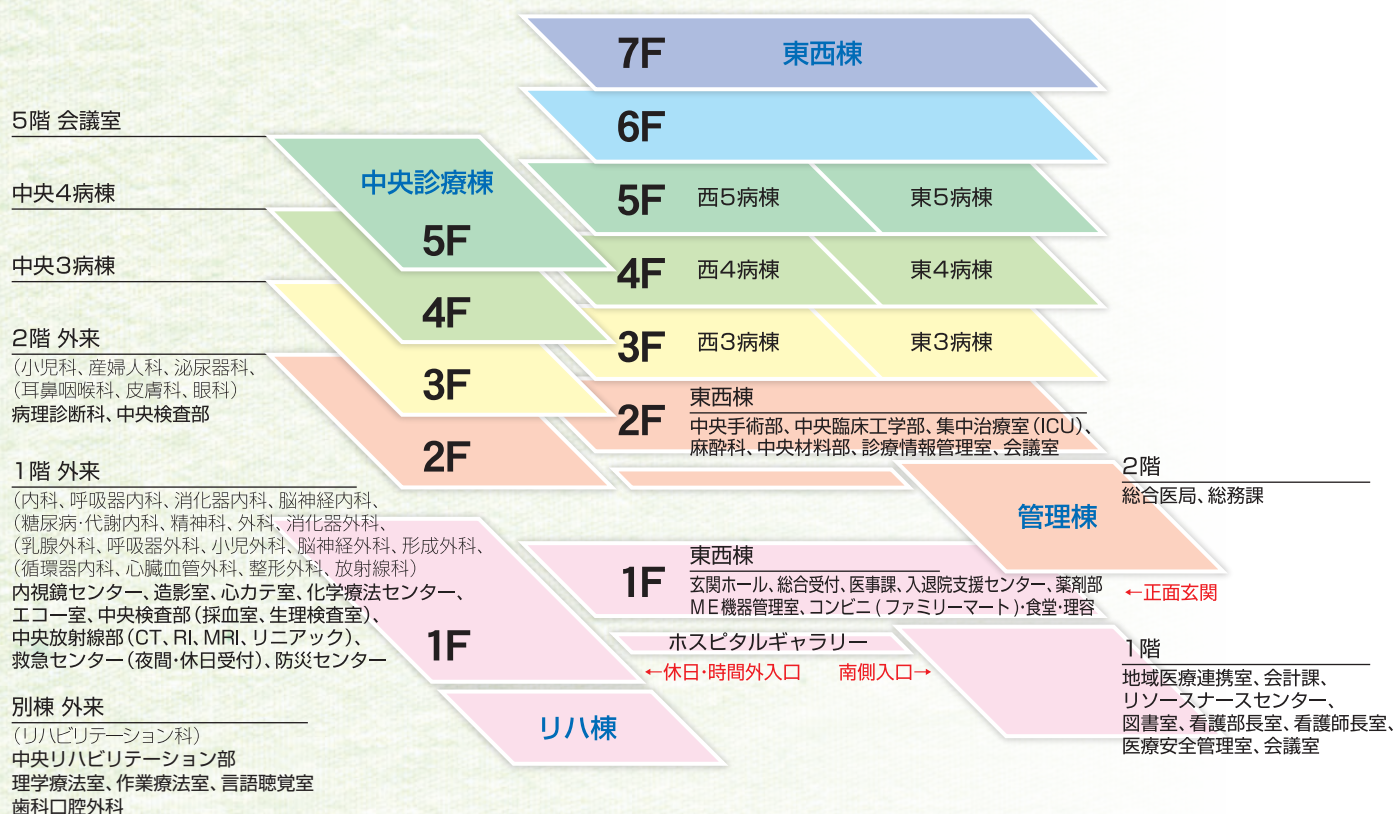
両立支援コーディネーターは、医師（主治医等）、看護師（がん相談員等）、リハビリテーション部（職場復帰のためのリハビリ等）と連携し、「熊本労災病院両立支援チーム」として対応します。

また、患者さまの同意を得た上で、熊本産業保健総合支援センターとも連携し、必要に応じて事業場との調整等も行います。

仕事との両立でお困りの方は、両立支援コーディネーターだけでなく、院内の医師や看護師、リハビリテーション技師等へもご相談できます。



[施設紹介]



○主な医療機器等／

手術支援ロボット hinotoriTM・MRI(3.0T)(1.5T)・RI・
高速CT(マルチスライス)・リニアック・乳房X線撮影装置・
終夜睡眠ポリグラフィ・血圧脈波検査装置・心臓血管撮影装置・
血管連続撮影装置・骨密度測定装置・ステントグラフト・ルビーレーザー



交通機関

- ◎産交バス新八代駅西口より
／みなバス（八代市街地循環バス）左廻りに乗車（所要時間約3分）
／八代市役所前行又は労災病院行に乗車（所要時間約3分）
- ◎タクシー／新八代駅より乗車（所要時間約3分）
- ◎乗用車／八代インターより（所要時間約5分）
- ※新八代駅西口より徒歩約10分

診療科目

内科／呼吸器内科／消化器内科／脳神経内科／糖尿病・代謝内科
精神科／循環器内科／小児科／消化器外科、一般外科／呼吸器外科
乳腺外科／小児外科、移植外科／心臓血管外科／整形外科／形成外科
脳神経外科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼科／耳鼻咽喉科
リハビリテーション科／放射線科／麻酔科／歯科口腔外科／病理診断科

診療時間

[受付時間] 午前 8:15 ～ 11:00
[休 診 日] 土曜・日曜・祝日
年末年始（12月29日～1月3日）



独立行政法人 労働者健康安全機構

熊本労災病院

〒866-8533 熊本県八代市竹原町1670
電話 0965-33-4151 FAX 0965-32-4405

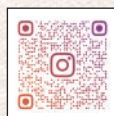
<https://www.kumamotoh.johas.go.jp>



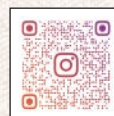
ホームページ
熊本労災病院公式



フェイスブック
熊本労災病院公式



インスタグラム(ゆい)
熊本労災病院公式



インスタグラム(労災)
熊本労災病院公式